



2025 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 神 田 通 信 機 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 神 部 雅 人
(コード番号：1992 東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員管理本部長 永 芳 淳 二
電話番号 (03) 3252-7731

通期連結業績予想と実績との差異及び
剰余金の配当に関するお知らせ

2024 年 11 月 11 日に公表いたしました 2025 年 3 月期通期の連結業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、2025 年 3 月期の期末配当について、2025 年 6 月 27 日開催の第 88 期定時株主総会に下記のとおり付議することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績との差異について

(1) 2025 年 3 月期通期連結業績予想と実績との差異
(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 予 想 (A)	6,900	410	480	320	140 円 50 銭
実 績 (B)	7,179	625	712	431	185 円 95 銭
増 減 額 (B－A)	279	215	232	111	
増 減 率 (%)	4.1	52.6	48.4	34.9	
(ご参考) 前期実績 (2024 年 3 月期)	7,152	721	804	545	232 円 47 銭

(2) 業績予想との差異理由

当期の連結業績につきましては、売上高は、レガシー P B X 等の既存事業に対する底堅い需要により、主要顧客を中心とした大型案件の受注・売上が想定を上回って推移したこと、また、手持ち工事の進捗も順調に推移したこと等により、前回予想を上回りました。

利益面につきましては、増収による効果に加えて、特に照明制御事業における利益確保を見据えた適正価格での工事受注への取り組みを継続してきた成果が表れたことや業務効率化に努めたことにより、事業活動強化のための開発投資、人的資本充実のための給与水準引き上げや教育費用の大幅な増大、また、特別損失として本社ビル建て替えに伴う解体費用の計上等があったものの、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも前回予想を上回りました。

2. 剰余金の配当について

(1) 2025 年 3 月期期末配当の内容

	予定額	直近の配当予想 (2024 年 5 月 13 日発表)	前期実績 (2024 年 3 月期)
基準日	2025 年 3 月 31 日	2025 年 3 月 31 日	2024 年 3 月 31 日
1 株当たり配当金	70 円	67 円	66 円
配当金の総額	159,559 千円	—	154,624 千円
効力発生日	2025 年 6 月 30 日	—	2024 年 6 月 28 日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置づけ、収益性の向上をはじめとした諸施策に取り組むことでROE 8%を基準とし、同時に中長期的な視点に立った事業活動を推進しております。配当政策としましては、株主の皆様への利益還元の姿勢を強化するとともに、事業成長への投資を進めていくため、DOE 3%を目処として設定し、安定的な配当を継続することを基本方針としてまいりました。

また、現中期経営計画(2024 年 4 月～2027 年 3 月)では、資本コストを意識した適切な財務構造を実現するための取り組みを推進し、ROE 9%への引き上げと定着、事業構造改革投資を確保した上での適切な株主還元として、DOE 3.5%以上への引き上げを中期経営計画の最終事業年度末までに達成することを目指しております。

当事業年度の剰余金の期末配当につきましては、中期経営計画初年度の目標数値は達成したものの、翌事業年度の人的資本への投資をはじめとした、事業構造改革に伴うコスト増等を含んだ業績予測に鑑み、DOE 3.1%とし、前回公表の1株当たり67円から1株当たり70円予定といたしました。

以 上